

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】令和7年1月16日(2025.1.16)

【公開番号】特開2023-112330(P2023-112330A)

【公開日】令和5年8月14日(2023.8.14)

【年通号数】公開公報(特許)2023-151

【出願番号】特願2022-14057(P2022-14057)

【国際特許分類】

F 16 F 15/134(2006.01)

10

【F I】

F 16 F 15/134 D

F 16 F 15/134 A

【手続補正書】

【提出日】令和7年1月7日(2025.1.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【0007】

本発明のある側面に係るダンパ装置は、動力源側の部材に対して軸方向の第1側において取り付けられるように構成されている。ダンパ装置は、ダンパユニットと、トルクリミッタユニットとを備える。トルクリミッタユニットは、動力源側の部材に取り付けられるように構成される。ダンパユニットは、第1入力プレート、第2入力プレート、締結部、出力プレート、及び弾性部材を有する。第2入力プレートは、第1入力プレートに対して軸方向の第2側に配置されている。第2入力プレートは、第1入力プレートと一体的に回転する。締結部は、第1入力プレートと2入力プレートとを締結する。弾性部材は、出力プレートと第1及び第2入力プレートとを弾性的に接続する。トルクリミッタユニットは、環状の第1サイドプレート、環状の第2サイドプレート、摩擦プレート、及び第1摩擦材を有する。第2サイドプレートは、第1サイドプレートに対して軸方向の第2側に配置される。第2サイドプレートは、第1サイドプレートと軸方向において間隔をあけて配置される。摩擦プレートは、第1及び第2入力プレートと一体的に回転する。第1摩擦材は、摩擦プレートと第1サイドプレートとの間に配置される。第1入力プレートの外周端部は、第1サイドプレートの内周端部に対して軸方向の第1側に配置される。第1入力プレートの外径は、第1サイドプレートの内径よりも大きい。締結部は、第1サイドプレートに対して軸方向の第1側に配置される。

30

40

50